

福岡市総合図書館 映像ライブラリー



◆ INFORMATION AT MOVIE HALL ◆

特集

特別企画

- 50年代の日本映画 10月2日(水)～10月6日(日)
- 日本のドキュメンタリー傑作選 10月9日(水)～10月13日(日)
- 日本の時代劇特集 10月16日(水)～10月20日(日)
- ユースアート'96「福岡実践映画塾」製作映画上映会 10月24日(水)～10月26日(土)
- 主催 ユースアート'96実行委員会・福岡市
- 福岡市民芸術祭協賛 第4回福岡映像コンテスト 10月27日(日)
- 主催 福岡映像協会

1996 october

10

特集 50年代の日本映画

戦後日本が初めて世界の注目を浴びた1950年代。次々に登場する巨匠たちの作品により、日本映画の黄金年代であった50年代を振り返り、時代と映画について検証する。

会 期：10月2日(水)～10月6日(日)

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

定員・各回入替制。チケットはすべて当日券。

前売り券はありません。

上映作品

10月4日(金) 14:00/19:00

「夜の河」

1956年 カラー 104分 大映

監督 吉村公三郎 原作 沢野久雄

出演 山本富士子 上原謙 小野道子 川崎敬三



山本富士子を一躍スターダムにのしあげた記念碑的な作品。撮影の宮川一夫の美しいカラー映像もまた素晴らしい。京都掘割の京染屋の娘・キワは結婚もせずに父と家業に打ち込んできたが、病弱な妻を抱えた阪大教授竹村にひかれて恋に落ちてしまう。そして妻の死後キワは竹村に求婚される。

10月2日(水) 14:00/19:00

「本日休診」

1952年 モノクロ 96分 松竹

監督 渋谷実 原作 井伏鱒二

出演 三國連太郎 岸恵子 淡島千景 鶴田浩二



とある町の小さな病院の休診日。看護婦と若い先生は温泉へ出かけてしまう。留守番となった八春先生はのんびりと昼寝をしようと思ったが、近所に住む勇作が戦争後遺症による発作がでて、兵隊ごっこにつきあわされたり、飲み屋の女が流産しそうだと駆け込んできたり、はては盲腸の急患がかつぎ込まれたりとなんやうな1日になってしまう。

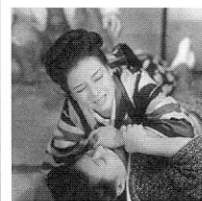
10月3日(木) 14:00/19:00

「偽れる盛装」

1951年 モノクロ 120分 大映

監督 吉村公三郎 脚本 新藤兼人

出演 京マチ子 菅井一郎 藤田泰子 小林桂樹



溝口健二に師事した新藤兼人が溝口の「祇園の姉妹」に対するオマージュとして書き上げた作品。祇園の静乃家の芸者君蝶は男を次から次へと移っていく新しいタイプの芸者。君蝶には市役所に務める妹妙子がいて、同僚の孝次に恋していた。しかし孝次は静乃家の商売がたき菊亭の養子だったため、二人の結婚は周囲の反対をうける。

10月4日(金) 14:00/19:00

「夜の河」

1956年 カラー 104分 大映

監督 吉村公三郎 原作 沢野久雄

出演 山本富士子 上原謙 小野道子 川崎敬三



山本富士子を一躍スターダムにのしあげた記念碑的な作品。撮影の宮川一夫の美しいカラー映像もまた素晴らしい。京都掘割の京染屋の娘・キワは結婚もせずに父と家業に打ち込んできたが、病弱な妻を抱えた阪大教授竹村にひかれて恋に落ちてしまう。そして妻の死後キワは竹村に求婚される。

10月5日(土) 14:00/18:30

「喜びも悲しみも幾年月」

1957年 カラー 151分 松竹

監督 脚本 木下恵介 音楽 木下忠司

出演 高峰秀子 佐田啓二 中村賀津雄 桂木洋子 田村高廣



北は北海道・納沙布岬から、南は五島列島・女島まで全国15ヶ所をカバーする日本縦断ロケを敢行した灯台守の夫婦の25年にわたる年代記。日本全国を渡り歩く一種のロードムービーであり、1932年から始まり、戦争を挟んだ昭和史にもなっている。同名の主題歌は大ヒットとなり今も壞メロとして親しまれている。

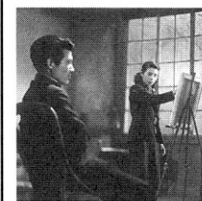
10月6日(日) 11:00/15:00

「また逢う日まで」

1950年 モノクロ 109分 東宝

監督 今井正 脚本 水木洋子 八住利雄

出演 岡田英次 久我美子 滝沢修 杉村春子



ロマン・ロランの小説「ピエールとリュイス」をもとに水木洋子が脚色した名作。学生・田島三郎と画家のタマゴ・小野螢子は空襲警報の鳴り渡る地下鉄のホームで知り合う。ふたりはお互いの境遇を慰め合ううちに恋におちやがて結ばれる。しかし、三郎は出征することになる。戦中の若い恋人たちのやり場のないむなしさを浮き彫りにした純愛映画の傑作。

特集 日本のドキュメンタリー傑作選

一口にドキュメンタリーといってもさまざまなテーマ、手法がある。今回の特集では日本の『戦争と戦後』に焦点を当て特集。

会 期：平成8年10月9日(水)～10月13日(日)

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

定員・各回入替制。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

プログラム

戦後復興1

10月9日(水) 14:00/19:00

●佐久間ダム

戦後日本の土木工事の近代化の第一歩を記した佐久間ダム建設工事。その工事の詳細を特に工法面での参考資料として記録されたドキュメンタリー。

1954年 35ミリ 100分 岩波映画 演出・脚本 高村武次

戦後復興2

10月10日(祝・木) 11:00/15:00

●東京オリンピック

1964年開催された東京オリンピックは戦後復興のモニュメントとして、またアジア初の平和の祭典として開催された。この映画は当時の文化人・映画人たちがこの祭典を一つのドラマとして、芸術として単なる記録映画を越えて描いている。

1965年 35ミリ 170分 東宝 監督 市川崑

戦時下のドキュメンタリー

10月11日(金) 14:00/19:00

戦時下の思想統制物質不足の中いくつかの記録映画の傑作、名作が作られている。その代表的作品が今回の2本、亀井文夫の『戦う兵隊』と水木荘也の『ある保母の記録』である。

●ある保母の記録

1942年 16ミリ 30分 芸術映画社=東宝 監督 水木荘也

●戦う兵隊

1938年 16ミリ 66分 東宝 監督 亀井文夫

戦争の爪痕1

10月12日(土) 14:00/19:00

1945年広島と長崎に投下された原子爆弾。今なお多くの爪痕を残す悲劇の記録を時代を隔て作られた2本の作品によって検証する。

●生きていてよかった

1956年 35ミリ 39分 日映新社 監督 亀井文夫

●ヒロシマナガサキー核戦争のもたらすもの

1982年 16ミリ 46分 岩波映画社 演出 早川正美

戦争の爪痕2

10月13日(日) 11:00/15:00

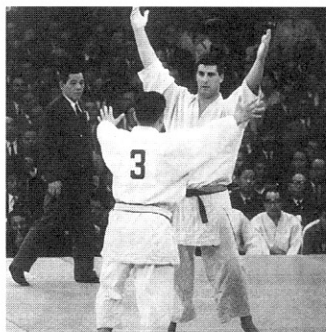
終戦直後、戦意高揚映画のフィルムをもとに戦争批判として作られた「日本の悲劇」、朝鮮人強制連行問題を扱った「はじけ鳳仙花ーわが筑豊わが朝鮮」。2つの作品から日本の戦後を考える。

●日本の悲劇

1946年 35ミリ 39分 日映新社 監督 亀井文夫

●はじけ鳳仙花ーわが筑豊わが朝鮮

1984年 16ミリ 48分 幻燈社 構成・編集 土本典昭



東京オリンピック



戦う兵隊

映像ホールスケジュール

月	日	曜日	内 容	
10	1	火	上映はありません	
	2	水	50年代の日本映画	本日休診 14:00
	3	木		本日休診 19:00
	4	金		偽れる盛装 14:00
	5	土		偽れる盛装 19:00
	6	日		夜の河 14:00
	7	月	休館日	夜の河 19:00
	8	火	上映はありません	
	9	水	日本のドキュメンタリー傑作選	喜びも悲しみも幾年月 14:00
	10	木		喜びも悲しみも幾年月 18:30
	11	金		また逢う日まで 11:00
	12	土		また逢う日まで 15:00
	13	日		また逢う日まで 15:00
	14	月	休館日	
	15	火	上映はありません	
	16	水	日本の時代劇特集	佐久間ダム 14:00
	17	木		佐久間ダム 19:00
	18	金		東京オリンピック 11:00
	19	土		東京オリンピック 15:00
	20	日		ある母の記録/戦う兵隊 14:00
	21	月	休館日	ある母の記録/戦う兵隊 19:00
	22	火	上映はありません	
	23	水	上映はありません	
	24	木	福岡実践映画塾 製作映画上映会	生きていてよかった/ヒロシマナガサキ核戦争のもたらしたもの 14:00
	25	金		生きていてよかった/ヒロシマナガサキ核戦争のもたらしたもの 19:00
	26	土		日本の悲劇/はじけ嵐仙花-わが筑豊わが朝鮮 11:00
	27	日	第4回福岡映像コンテスト 12:00	
	28	月	休館日	
	29	火	上映はありません	
	30	水	上映はありません	
	31	木	月末休館日	

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますのでご了承下さい。

その他の企画

古文書学講座
趣旨
古文書を楽しく読むための古文書学の基礎を学ぶ。特に中世、近世、近代の3部門に分けて、古文書学を修得する。また、実際に地域の古文書の解読を行う。
受講料 無料
会 場 福岡市総合図書館3階第1会議室
日程及び研修内容

回	期 日	時 間	内 容	講 師
1	9月21日(土)	午後2時 ～ 午後4時	近世古文書学講座	福岡大学教授 武野 要子
2	9月28日(土)			
3	10月5日(土)		中世古文書学講座	福岡大学教授 川添 昭二
4	10月12日(土)			
5	10月19日(土)		近代古文書学講座	九州大学教授 東定 昌宜
6	10月26日(土)			

お申し込み先：福岡市総合図書館文書資料課まで
TEL (092)852-0600 FAX (092)852-0609

映像ホール利用申し込みについて

12月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

期 間
平成8年 12月25日(水)～12月27日(金)
平成9年
1月29日(水)～2月2日(日)ただし1月31日(金)は月末休館日
2月26日(水)～3月1日(土)ただし2月28日(金)は月末休館日
3月26日(水)～3月30日(日)

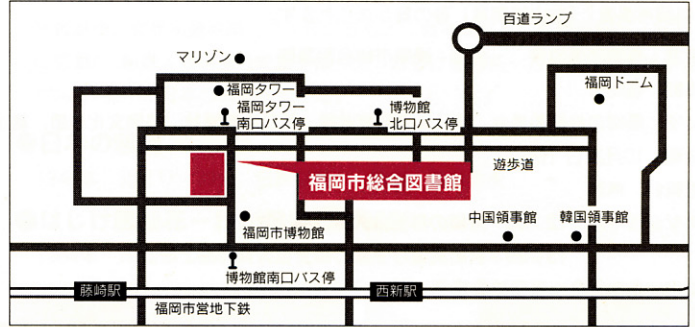
利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL (092) 852-0600までお問い合わせください。

映像ライブラリーNEWS送付のご案内

ただ今ご覧の「映像ライブラリーNEWS」及び映像ホール等で今後行われる各種イベントの情報を毎月(来年度3月号まで)無料で郵送いたします。(ただし要切手代)ご希望の方は希望の郵送開始月及び住所・氏名を明記の上、郵送手数料(90円×'97年3月までの月数：例 11月号からなら90円×5ヶ月=450円)分の切手を同封して、下記の宛先まで送付してください。希望月より'97年3月まで毎月郵送いたします。

**宛先：814 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館映像資料課まで**

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。
詳しくは、TEL (092)852-0600 福岡市総合図書館映像資料課まで



交通機関
地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分